



東京バプテスト神学校

〒336-0017 さいたま市南区南浦和 1-2-4

TEL: 048-767-8542 FAX: 048-767-8543

メール: seminary@tbts.jp

tbts.jp

検索



2026 年度後期 東京バプテスト神学校受講案内

【学 期】 後期 10 月 3 日(土)～2027 年 2 月 27 日(土)
＜冬期休講 12 月 15 日(火)～1 月 2 日(土)＞

【休 業 日】 主日、水曜日、国民の祝日(ただし、2 月 11 日は除きます)

【受講時間】 月曜・火曜・木曜・金曜日 午後 7 時～8 時 40 分(100 分)
土曜日 ①9 時 40 分～11 時 20 分(100 分) ②11 時 30 分～12 時 30 分(60 分)

【受 講 料】

	本校学生	本校学生以外の受講者	
		一般受講	後援会受講
科目 4 単位ごと	25,000 円	30,000 円	17,500 円 ※通信事務費を含む
科目 2 単位ごと (夏期・冬期講座、合唱、他)	12,500 円	15,000 円	7,500 円
通信事務費 1 科目ごと	5,000 円	5,000 円	5,000 円 ※教会共同受講の場合は免除
教会実習／卒業論文 (専攻科 3 年目)	30,000 円		
専攻実技(4 単位)	75,000 円		

※「後援会受講」は年会費 5,000 円か月々支援加入が必要となる(平常科目も受講可能)。

【後期開講科目】

曜日	科目名	単位	共通/必修科目	担当講師
月	*公開講座「宣教学」	4	共通	小牧由香
月	新約聖書学 B	4	専攻科必修	平野健治
火	神学実践	4	専攻科必修	濱野道雄
火	ヘブル語 A	4	本科必修	城倉啓
木	*公開講座「旧約聖書学 B」	4	専攻科必修	渡邊さゆり
木	*公開講座「礼拝学 B」	4	専攻科必修	越川弘英
金	*公開講座「説教学 B」	4	専攻科必修	朝岡勝
金	教会音楽概論	4	本科・音楽科必修	江原美歌子、小松澤恵
土	*公開講座「合唱」	2	音楽科必修	山中臨在
土	和声・編曲	4	音楽科必修	十時節子
ビデオ 講座	キリスト教史	4	本科必修	内藤幹子
	ギリシャ語 B / ヘブル語 B	4	専攻科必修	城倉啓
	アラム語	4	共通	城倉啓
冬期	*公開講座「聖書」とは何か—死海文書と キリスト教(12 月 28～29 日)	2	本科・専攻科必修	上村静

2026 年度後期 講義シラバス(* 公開講座)

* 月曜「宣教学」～デジタル宣教とSNS活用入門 (講師:小牧由香)

本講義では、「ホームページやSNSを使ってみたいけれど、何から始めたらよいかわからない」という方を対象に、教会の情報発信をやさしく学びます。専門的なIT知識や難しい技術は必要ありません。ホームページの見方、Googleマップ、Canvaでのチラシ作成、SNS投稿、AIの簡単な活用などを、実際の教会事例を交えながら、ゆっくり丁寧に体験していきます。

テキスト なし

月曜「新約聖書学B」～『共食神学』 聖書を共食の視点から読む (講師:平野健治)

コロナ以降、一緒に食べる「共食(きょうしょく)」の価値が見直されつつあります。本講義では聖書における共食の意味の再発見を目的とします。聖書がどのように共食を描き、またどのように食に関係をしているのかを横断的に俯瞰し、明らかにすることで、イエスの宣教をより深く理解することがゴールです。食事というテーマは聖書の周縁(中心ではない)と受け取られることが多いかもしれませんが。しかし本講義を受講することで食事というテーマを、聖書の中心的テーマ、ひとつの神学と感ずることができるようでしょう。イエスが食を通じて伝えようとした福音を明らかにすることができるはずです。イエス以降の時代も食と信仰に関するテーマは議論が続きました。その議論は現代の私たちにも、つながっています。この講義を通じ私たちの信仰と食事のあり方にも目を注いでゆくようになることを望みます。

テキスト なし。各授業で資料を配布します。

参考書 川島貞雄『旧約聖書における食物規定ーイエスを中心としてー』2016年、教文館。山口雅弘『生きるをいつくしむガリラヤに生きたイエスの共食と共生』2025年、ヨベル社。

火曜「神学実践」～教会形成を考える:モデルのない時代に (講師:濱野道雄)

「神学入門」が神学の入口なら、「神学実践」は出口(もともと、ここからまた新しい歩みが始まります)となります。本校では同じ名前の科目を複数回受講して単位取得ができますので、内容(関連し合っていますが)を3種類考えています。それぞれ構築(組織)神学、宣教学、教会形成論を中心としています。本年度は教会形成論(神の宣教に基づく、教会の働き、牧師の働きとは何か)を中心に、具体的に考察しつつ、これまでのモデルが変わりつつある教会形成、牧師の働きを共に考えましょう。

テキスト 金子敬『バプテスト教会における牧師の働き 一牧師の現場から』日本バプテスト連盟 宣教研究所、2009・宣教研究所編『バプテスト教会において豊かな式を形作る言葉と祈りのためにー視点と参考例』日本バプテスト連盟 宣教研究所、2015・島田恒、濱野道雄『教会のマネジメントー明日をつくる知恵』、キリスト新聞社、2020

参考書 コピーして配布

火曜「ヘブル語A」～ヘブル語文法の「いろは」をみんなで楽しく学びましょう (講師:城倉啓)

ヘブル語は見たこともない形をしています。右から左に読みます。まるで暗号、とつつきにくく感じますね。でも、とつつきにくいことは、ほぼそれだけです。ギリシャ語に比べれば文法も簡単。語彙も断然少ないのです。この講義では旧約聖書の主要な原語であるヘブル語の全体像を把握します。辞書が引けるようになります。そして後期の原典講読の講義の準備をします。それは「暗号解読」の基礎技術を習得する学びです。

テキスト 『超入門ヘブル語のススメ』(2023年再刷以降のもの)いのちのことば社、城倉啓著

参考書 『ヘブル語語彙集』(2023年)いのちのことば社、城倉啓著

* 木曜「旧約聖書学B」～平和を祈る今の時代にこそ読み解け、「旧約聖書」(講師:渡邊さゆり)

旧約聖書が記されている、もとの言語を習熟しているわけではないし、多くのジャンルが詰まった大量の書物を前に、「旧約は難しい!」と頭を抱えたことはありませんか?私もそうです。しかし絡まり合った糸を、仲間の声に耳を傾けながらほぐしていくと、なぜこの言葉が、この文章が、そこに編み込まれていったのかの「ヒント」を見つけられることができます。旧約聖書の中には、神と人間が真剣に向き合おうとした軌跡があります。普段自分が使っている言語で読むことでも、「釈義」はきっとできるはず。平和を求め祈る今の時代にこそ、旧約聖書のもう一步深めの学びを、ぜひ一緒に。学習のためのネット情報を利用する方法や、辞書や辞典の利用で、今まで以上に、聖書を楽しく、そして丁寧に読んでいきたいです。

テキスト D.スチュワート著 山吉智久訳 『旧約聖書の釈義 本文の読み方から説教まで』教文館 2017年

参考書 関西学院大学キリスト教と文化研究センター編『聖書の解釈と正典：開かれた「読み」を目指して』キリスト新聞社2007年

*** 木曜「礼拝学B」～キリスト教礼拝の基本と実践について（講師：越川弘英）**

この講義では、まずキリスト教礼拝の基本的な神学的理解を学び、それを踏まえて実際に礼拝を行う際の実践的な課題や方法などについて検討する。さらに今日の新たな状況や技術的可能性に関連して、オンライン礼拝及び生成AIの活用について検討する。各回のレジュメを事前に用意するので、受講者はそれらをあらかじめ確認すると共に、各回の講義に該当・関連するテキストや参考書を自主的に予習・復習することが求められる。講義に関する質問は、当該回もしくはその次の回の講義内で答えるか、あるいは最終回の「まとめ」において対応する。成績評価は平常点（60％／質問等による授業参加など）、学期末の最終レポート（40％／詳細は第1回講義のオリエンテーションで説明する）によって判断する。

テキスト 今橋朗『礼拝を豊かに～対話と参与』（日本基督教団出版局／1995）、越川弘英『今、礼拝を考える（新装増補版）』（キリスト新聞社／2020）、越川弘英『信仰生活の手引き 礼拝』（日本基督教団出版局／2013）、越川弘英『礼拝改革試論～みんなで礼拝を創るために』（キリスト新聞社／2019）、越川弘英『きのうの教会・あしたの教会 2025±』（日本基督教団出版局／2025年）

参考書 オリエンテーションで紹介する

*** 金曜「説教B」～みことばのよき語り手、よき聴き手となるために（講師：朝岡勝）**

本講義では聖書を説き明かす「説教」ができるようになることを目指します。その際に「説教とは何か」を踏まえ、「説教をどのように準備するか」、「説教をいかに語るか」を具体的に学び、さらには「説教をいかに聴くか」ということにも考えを及ぼせたいと思います。特に本講義は「演習と批評」が中心となります。受講生の皆さんには説教準備のプロセスを踏まえて実際の説教を語っていただき、よりよい説教、よりよい説教者なることを目指します。また説教の批評をして、よりよい聴き手となることを目指します。

テキスト 小泉健『みんなの説教入門』（日本キリスト教団出版局、2025年）

参考書 朝岡勝『説教の聴き方 語られ、聴かれ、生きられるみことば』（教文館、2025年）

金曜「教会音楽概論」～礼拝を豊かに～教会音楽を用いて（講師：江原美歌子、小松澤恵）

教会音楽の目的、重要性、使命を踏まえ、礼拝・宣教・教育・牧会の中での役割を学んでいきます。聖書（旧約、新約）から賛美の基本、姿勢を押さえ、実践では、礼拝での賛美・会衆賛美の意義、賛美歌の選曲、『新生讃美歌』の特徴、使い方について学びます。現代の礼拝と教会音楽における課題を整理し、今置かれている教会の礼拝、教会形成を考えていきます。最後に牧師、教会音楽奉仕者として、礼拝を支える働きであるチームの役割を確認し、より豊かな礼拝をつくりあげるための学びとしていきます。

テキスト 『キリスト者の礼拝 神学と実際』（キリスト新聞社）、『新生讃美歌ブックレット』（日本バプテスト連盟）

*** 土曜「合唱」～新しい歌を主に向かって（講師：山中臨在）**

個性の異なる者たちが互いに聞き合い、受け入れ合い、支え合って一つのハーモニーを奏でて主を賛美する恵みや豊かさ、そしてその意義を、合唱を通して学ぶ。本校神学生以外の一般参加者も広く参加を歓迎する。

土曜「和声・編曲」～ハーモニーで賛美と心を豊かに（講師：十時節子）

和声学の基礎を理論的に学び、会衆賛美や賛美演奏など実践への応用を習得していきます。前半は和声学の学び、そして後半はコードの仕組みや機能の働き、コードプログレッションを学んでいき、ハーモニーにより賛美がより豊かになるよう理論的な裏づけと共に、自分の耳や感性を研鑽していきます。自分のオリジナル編曲作品を作りましょう！

テキスト 和声法がさくさく理解できる本 土田京子 著 ヤマハミュージック / 新生讃美歌

参考書 ①和声法講座（解きながら身につく・課題付）土田京子著 ヤマハミュージック、②新版 実用和声学 一旋律に美しい和音をつけるために 中田喜直著 音楽乃友社

2026 年度後期 講義シラバス(* 公開講座)

ビデオ講座「キリスト教史」～物語のあらすじを掴む (講師:内藤幹子)

本講義は、受講者がキリスト教の歴史(世界、日本)の「あらすじ」「見取り図」を理解し、その知識を基に自分自身でその後の学びを深めていくことができるようになることを目指すものです。また、その「ストーリー」の中に登場する人物やキリスト教神学思想についての基礎知識を得ることができる内容でもあります。特定のテキストに沿って進めていない部分が大半であるため、可能であれば、講義で取り扱っている内容について記した書籍や、用語・人物について調べるための辞典類をお手元に置いておくことをお勧めします。

テキスト 特にありません。

ビデオ講座「ギリシャ語B」～マルコ福音書を読む (講師:城倉啓)

「原典で聖書を読むことは10冊の注解書を読むことにまざる」と言われます。聖書を原典で読みたいという志を心から応援しています。マルコ福音書は最古の福音書です。著者マルコは、パウロと緊張関係を持ちながら活動した初代教会指導者です。彼の第一言語はアラム語・ヘブル語、ギリシャ語は第二言語です。アラム語・ヘブル語なまりのギリシャ語で書かれたギリシャ語であることは、独特の味わいをもたらしています。原典を読むにあたって、まずは単語を品詞に分類し、ばらばらに分析します。次に意味を成す一文へと統合していきます。ギリシャ語から日本語への翻訳のポイントは「時称の違い」「分詞の用法」です。最後の3回で、写本(底本)、本文批評という考え方と実際を取り扱います。いざ原典の大海原へ。

テキスト Nestle-Aland Novum Testamentum Graece, Deutsche Bibelgesellschaft Stuttgart (26版以降)。岩隈直『増補改訂ギリシャ語辞典』山本書店(増補初版1982年)。岩隈直『増補改訂ギリシャ語逆引辞典』山本書店(増補初版1989年)。野口誠『聖書検定ギリシア語公式テキスト【初級】・【上級】』聖書検定協会(2023年)。田川建三『書物としての新約聖書』勁草書房(2001年)。**参考書** 大貫隆『新約聖書ギリシア語入門』岩波書店(初版2004年)

ビデオ講座「ヘブル語B」～みことばを味わい尽くそう (講師:城倉啓)

旧約聖書の有名な聖句11か所を、原典でじっくりと読み解き、自分訳を創り出すことをめざします。テキスト『ヘブル語文法の手ほどき』に基づいて、音読・暗号解読・単語のおさらい・統語・自分訳(・なぞり書き)を行い、原典を味わいます。最後の3回で本文批評について紹介し、原典の奥行きをも知ります。原典の大海原へようこそ。

テキスト Biblia Habraica Stuttgartensia, Deutsche Bibelgesellschaft Stuttgart, 1977。『ヘブル語文法の手ほどき』『ヘブル語のススメ』『ヘブル語語彙集』、いずれも、いのちのことば社、城倉啓著。『BHSのマフテアハ』(PDF版を配布します)**参考書** 谷川政美『聖書ヘブライ語日本語辞典』ミルトス、2018年。

ビデオ講座「アラム語」～イエスの用いた言語を学ぶ (講師:城倉啓)

旧約聖書にはアラム語で書かれた部分があります。大きな塊は①ダニエル書2章4節b～7章28節、②エズラ記4章8節～6章18節、同7章12節～26節の二書にあります。この講義ではヘブル語文法を復習しながら、アラム語の文法を学びます。両者の文字は同じですし、文法もよく似ていますから大丈夫です。実際の聖句を読んでみましょう。さらに新約聖書の中に散りばめられたアラム語についても解説していきます。「アッバ」「エロイ・エロイ・ラマ・サバクタニ」「マラナタ」、これらはみなアラム語です。

テキスト 講師自作の聖書アラム語の教科書(未出版)をPDFファイルで配付いたします。城倉啓『ヘブル語のススメ』いのちのことば社、2022年。Biblia Habraica Stuttgartensia, Deutsche Bibelgesellschaft Stuttgart, 1977。谷川政美『聖書ヘブライ語日本語辞典』ミルトス、2018年。

＜お問合せ＞(月・火・木・金、午後3時～9時)

・TEL:048-767-8542 ・FAX:048-767-8543 ・E-mail:seminary@tbts.jp